

シンポジウム「ノモンハン事件と国際情勢」ご案内

主催：軍事史学会・特例財団法人偕行社
(近現代史研究会)

1. シンポジウムの目的

- ①偕行社の近現代史研究会で、現代社会における一部偏向した近現代史について見直しを地道に続けていますが、その成果を広く会員及び会員以外の近現代史に関心のある国民に伝えることを目的とします。
- ②今年にはノモンハン事件発生70周年の記念すべき時期であり、更にソ連崩壊後の新史料の発掘もあり、同事件の歪曲された部分を徹底解明するチャンスであります。その意味からノモンハン事件の真相に迫る良き機会と考えております。

2. テーマ：「ノモンハン事件と国際情勢」

3. 時 期：2009. 9. 11 (金) 13:00～17:00

4. 場 所：上智大学 (四谷キャンパス10号館講堂)

5. 実施日程

13:00 開会案内 司会者 (偕行社事務局松田)

13:00～13:20 開会挨拶 特例財団法人偕行社会長
軍事史学会会長 (原副会長)
上智大学代表者

13:20～13:45 基調報告 「ノモンハン事件の見方」
中山隆志近現代史研究委員会委員長

13:45～14:00 現地報告 「ノモンハン現地の状況 (ノモンハン空戦体験者)」
瀧山 和氏 (陸軍士官学校49期・元陸軍少佐)

(休憩：10分間)

14:10～14:20 司会者挨拶 (杉之尾宣生軍事史学会理事)

14:20～15:50 パネリスト報告 (各パネリスト：25分)
菅沼光弘氏「リュシコフ大将亡命の影響」

(国士舘大学講師、元公安調査庁調査部長)

戸部良一氏「ノモンハン事件前後の外交情勢」

(国際日本文化研究センター教授、軍事史学会副会長)

土居征夫氏「陸軍の対ソ情報活動」

(元通産省局長、企業活力研究所理事長)

(休憩：10分間)

16:00～17:00 パネラー報告のまとめと問題提起等 (杉之尾司会者)
フロアからの質問を中心にパネラーとの質疑応答

17:00 閉会案内 司会者

*参加申込は、偕行社事務局へ (TEL03 - 3263-0851・FAX03 - 3263 - 0852)

担当：松田純清 (メール：kaikoinfo@mild.ocn.ne.jp)

*当日は、資料代として1000円申し受けます。

以上